Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Evaluation of the association between sleep apnea and polyunsaturated fatty acids profiles in patients after percutaneous coronary intervention

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中林, 圭介 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032094

様式（6）

学　位　審　査

学　位　番　号	乙　第 2977 号	氏　　名	中林　圭介
審　査　委　員　会	主　査　教　授	北川　一夫	

論文審査の要旨（400 字以内）

本研究は経皮的冠動脈形成術(percutaneous coronary intervention: PCI)を実施した274 症例を対象に睡眠時無呼吸(SA)とエイコサペンタエン酸(eicosapentaenoic acid: EPA)を含む n-3 多価不飽和脂肪酸(polyunsaturated fatty acid: PUFA)、アラキドン酸(AA)のレベルの関連を検討したものである 134 例(55.1%)が SA を示し、SA 群で EPA/AA 比は有意に低く(0.33 ± 0.23 vs. 0.44 ± 0.35, p<0.01)、更に EPA 及び EPA/AA 比は SA 重症度と有意な逆相関を示した(r=-0.15, p=0.028; r=-0.16, p=0.019)。ロジスティック回帰分析を用いた多変量解析で EPA/AA 比は SA 罹患との独立した相関が認められた(オッズ比: 2.06, 95% CI: 1.04-4.11)。以上より PCI を施行した CVD 患者において、SA 罹患症例は非 SA 症例と比較して EPA/AA 比が低値を示すことを明らかにしたものである。心血管疾患のリスクとして SA, EPA/AA 比はこれまでも着目されているが両者の関連性を示した点で本研究の意義は大きいと考える。SA と EPA/AA 比にどのような因果関係があるのかは今後の課題であるが、心血管疾患の残余リスクを管理する上で重要な臨床的課題であり、本研究は医学博士に該当すると判断する。

本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）[学校教育法学位規則第 8 条]